

# 令和4年度ヤングケアラー・若者ケアラー 支援研修アンケート集計結果



## 令和4年度 ヤングケアラー・若者ケアラー支援研修(第1～3回) アンケート集計結果まとめ

参加者 124 名 / 回答 109 名 / 回収率 87.9 %

1 あなた自身についておうかがいします。あなたの職場の領域について、該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
教育系	47	43%
児童福祉系	27	25%
高齢者福祉系	10	9%
障害者福祉系	8	7%
生活保護系	2	2%
ヤングケアラー相談窓口・相談員	3	3%
医療系	1	1%
社会福祉協議会	2	2%
地域福祉関係	1	1%
相談員	1	1%
福祉系	1	1%
母子保健	1	1%
人権	1	1%
社会福祉士会	1	1%
障害と包括	1	1%
保健	1	1%
福祉総務	1	1%
集 計	109	100%

2 あなたが教育・福祉・医療系の仕事に携わった年数の合計について、該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
0ヶ月～1年未満	8	7%
1年～2年未満	6	6%
2年～3年未満	7	6%
3年～5年未満	9	8%
5年～10年未満	12	11%
10年～20年未満	33	30%
20年以上	34	31%
集 計	109	100%

3 あなたは資格を有していますか。該当する選択肢を選んでください。

選択	回答数	割合
有している	73	67%
有していない	36	33%
集 計	109	100%

4 あなたが有している資格について、該当する選択肢を選んでください。(複数回答可)

選択	回答数	割合
教員免許	33	25%
社会福祉士	21	16%
看護師	17	13%
保健師	17	13%
介護支援専門員	11	8%
介護福祉士	8	6%
精神保健福祉士	8	6%
保育士	5	4%
公認心理師	3	2%
社会福祉主事任用資格	3	2%
理学療法士	1	1%
相談支援専門員	1	1%
児童福祉司任用資格	1	1%
相談員	1	1%
カウンセラー心理士	1	1%
集 計	130	100%

5 あなたがヤングケアラーを支援した経験はありますか。 該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
経験がある	42	39%
経験がない	67	61%
集 計	109	100%

6 5で「ある」と回答した方のみ その際、他の部署や職種と連携したことはありますか。 該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
どちらともいえない	2	5%
経験がある	40	95%
集 計	42	100%

7 あなたは普段の業務の中で、他の部署や職種と連携することはありますか。 該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
あまりない	4	4%
ときどきある	26	24%
よくある	79	72%
集 計	109	100%

## **(受講者自由記述抜粋)**

### **気づいたこと・学んだこと**

- ・職種によって見る視点が違うことがよくわかり、だからこそいろんな視点から支援できると思いました。
- ・多職種連携で新たな方向性が見えたと感じました。
- ・他職種の役割やできることを知っておくことが重要であると感じました。
- ・幼少期での気づきと関わりが成人期に繋がるという指摘が印象的でした。
- ・特に早期発見(気づき)、関係機関へつなぐことの大切さを改めて実感した。

### **さらに知りたいことや要望など**

- ・多問題家庭が多く、連携が難しい。本人への支援が見つかりにくい。
- ・学校の持つ役割は重要であると感じるとともに、役割が増えすぎる傾向も感じている。
- ・高校生年齢の支援。特に、所属がない子・通信制高校に通う子の支援の窓口が難しい。18歳を過ぎると支援が切れるところは非常に課題であると感じた。
- ・実際に行っている関係機関との連携について、具体的な事例等を知りたいです。
- ・ヤングケアラーは自覚がなく、助けを求める力も弱いのではと思う。ヤングケアラーや福祉制度を学ぶ教育を小学生から取り入れるべきではと思う。
- ・地域の人や地域包括の職員が気付いたケースをどうやって本人や家族との相談につなぐのか、申請によらない相談を支援につなげる入口が難しいと感じる。実際のケースを積み上げていくしかない。

## 令和4年度 ヤングケアラー・若者ケアラー支援研修(第1回) アンケート集計結果

参加者 36 名 / 回答 27 名 / 回収率 75 %

1 あなた自身についておうかがいします。あなたの職場の領域について、該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
教育系	18	67%
児童福祉系	4	15%
ケアラー窓口	1	4%
ヤングケアラー相談窓口	1	4%
医療系	1	4%
社会福祉協議会	1	4%
地域福祉関係	1	4%
集 計	27	100%

2 あなたが教育・福祉・医療系の仕事に携わった年数の合計について、該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
1年～2年未満	2	7%
3年～5年未満	2	7%
5年～10年未満	3	11%
10年～20年未満	12	44%
20年以上	8	30%
集 計	27	100%

3 あなたは資格を有していますか。該当する選択肢を選んでください。

選択	回答数	割合
有している	18	67%
有していない	9	33%
集 計	27	100%

4 あなたが有している資格について、該当する選択肢を選んでください。(複数回答可)

選択	回答数	割合
教員免許	14	52%
社会福祉士	5	19%
介護福祉士	2	7%
介護支援専門員	2	7%
精神保健福祉士	1	4%
保育士	1	4%
看護師	1	4%
保健師	1	4%
相談員	1	4%
集 計	28	104%

5 あなたがヤングケアラーを支援した経験はありますか。該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
経験がある	12	44%
経験がない	15	56%
集計	27	100%

6 5で「ある」と回答した方のみ その際、他の部署や職種と連携したことはありますか。該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
どちらともいえない	1	8%
経験がある	11	92%
集計	12	100%

7 あなたは普段の業務の中で、他の部署や職種と連携することはありますか。該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
あまりない	1	4%
ときどきある	7	26%
よくある	19	70%
集計	27	100%

8 本日の研修を受講され、「ヤングケアラー」や「ヤングケアラーの支援」「多職種連携」等について気づいたこと、分かったこと、思ったことなどがあれば自由にご記載ください。

自由記述
様々な現場で、ヤングケアラーや虐待などについて未然防止につとめてらっしゃることがわかった。
多職種で話すとたくさんの発見があった。
自身が教育関係なので、福祉の方の視点を聞くことができたのが良かった。 他市の取り組みを聞いたのが良かった。
色々な部署と連携しなければ支援は難しい。特に、学校を卒業してからの支援が途切れる。
制度上のことでたくさん教えていただきました。こちらが知りたかったこと、聞きたかったことが、気軽に聞ける場を設定していただき、大変ありがたかったです。
自分の知らないことがたくさんあり、大変有意義でした。
多職種連携の大切さ
気づきを大切にしていきたい。また、ケアをしている子供を尊重していく視点も大切にしたい。
ヤングケアラーが、親の話し相手なども含む事で今接している子どもだと気付いた。
学校現場としてすべきことを再度整理し、学校に返していきたいと感じました。

自由記述

教育、福祉で双方のできる内容をわかっていない

私自身、家計のアルバイトで家計の足しをしたり、死ねとか言われたり、妹の勉強をみたり学費を工面したりしていたことがあります。私は今日の体験談ほど過酷な経験ではないですし、乗り越えられた自分だからこそ自分を肯定してもいます。なんと申しますか、結局は、一人一人の状況にあわせなければいけない。どんな言葉が登場したときもそうですが、言葉だけが一人歩きしてはいけません。ヤングケアラーさん、ではなく、山田花子さん（固有名詞のたとえ）、としてちゃんと考えないといけない。体験談のケースでは、ご本人を主軸にするとご本人がケアラーになってしまった。となる。でも母軸だと、母はご病気があるのに要介護5まで支援に遭遇できなかった、他者を受け入れることを目的とした支援を受けられなかった、ともいえて。祖母も同様です。なんと申すか、結局、誰がどんなふうにいるか、というのは包括的な言葉で言い表せず、適切な時期に適切な支援が入るように、また、拒否があれば、なぜ拒否があるのかと真摯に向き合えるように、していく必要がある。この家庭には、母の支援、祖母の支援、そしてご本人の支援が本来必要だった。そして、それらの支援者が連携できてこそ、みんなが疲弊仕切ることなく継続していけるような図がよかったのではないかなと想像します。だから多職種連携が大切。

私も多職種連携の重要性を感じる日々なので、関係者と知り合えたらと思いつき本日参加しました。個人的には、自分の行政地域で多職種連携研修をできたらなと思っており、その思いが強くなりました。一方で、とあるケースのために学校、SSW、行政、社協、ケアマネ、包括、地域の支援者が会したことがありましたが、それはそれで会議運営は大変です。それぞれの目線、ルール、制度、思いがある。きちんと俯瞰的に各機関の意図を汲めるファシリテーターでないと、せっかくのつどいが結果論ではただ集まったで終わってしまいかねないと感じました。多職種連携がどのようにすればうまくいくのかは、とても考えたいことです。本日みなさんと初対面でありながらこのように話せたことは、とてもよい経験でした。ありがとうございます。

気づきが大切。早期支援が、支援が薄くなる成人以降のつながりを左右する。

様々な職種の方に出会い、お話できたことが良かったです

ヤングケアラー支援の視点を持って、他職種が連携していくことの大切さを改めて考えさせられました。対面研修の準備など大変だったかと思えます。関わってくださった方々に感謝いたします。

多問題家庭が多く、連携むずかしい。本人への支援が見つかりにくい。

様々な職種の方のご意見が聞けて、大変有意義でした。こういった研修がもっと広がればと思います。

幼少期での気づきと関わりが成人期に繋がるという指摘が印象的でした。他職種連携を進めるためにも、ヤングケアラーの周知が引き続き重要だと感じました。

当事者の方の経験を聞いて大変勉強になりました。

多職種の連携と気づきの大切さ

非常に貴重な討議ができ、ありがたかったです。

学校の持つ役割は重要であると感じるとともに、役割が増え過ぎる傾向も、感じている。

濱島教授が仰いましたようにヤングケアラーは周知させていないことが大きな課題だと思います。演習の中でも多くの方が言われており、我々教員がアンテナを高くしていかなければいけないと思いました。

自由記述
色々な場面で気付ける時がある。ヤングケアラーについて周知し、みんなで支える事が出来たらと思う
他職種で検討することで、多方面の考え方が理解でき良かったです。
特に早期発見（きづき）、関係機関へつなぐことの大切さを改めて実感しました。
学校に通っているときは関われる機関や制度がたくさんある。18歳以上のサポートがより必要になると感じた。

9 本日の研修を受講され、さらに知りたいことや要望などがありましたら、自由にご記載ください。

自由記述
子供支援センターや児童相談所など実際に相談を受ける方々にもっとお話を聞きたい。
このように多職種で話す研修を増やしてほしい。
パネルディスカッションでも高校卒業後についての支援が薄い印象だったので、高校卒業後をどうしたらいいか考えていきたい。
具体的支援
定期的にこのような機会があればありがたいです。
きれめない支援の構築において必要なことをもっと勉強したいです。
さらに詳しい制度を知りたい。
福祉でできる支援にどのようなものがあるのかを知りたい
もっと支援の方法を知りたい。経済的にも人的にも。サービスをひろげてほしい。
具体的なサポート、支援方法を学びたいと思いました
福祉サービスの基本や専門用語を知りたいと感じた
ヤングケアラーとネグレクト、心理的虐待について考察があれば知りたいなと思いました。今日の体験談もおおむねネグレクトと心理的虐待に分類されるのではないかなと思っていました。個人的には虐待という言葉は不適切とされていて、ただ、ヤングケアラーだと親の責任が少し遠くなった印象もします。子どもをとりまく状況がどう表現されるべきなのかなと思いました。
高校生年齢の支援。特に所属がなかったり、通信制高校に通う子の支援の窓口が難しい。
早期発見、早期介入について
多くの方に支援について考えていただく機会があればと思います。継続的な研修の機会があればと思います。
今日はありがとうございました。勉強になりました。
ぜひ来年度も継続して開催してほしいです。

自由記述

ふうせんの会のような支援団体の活動について、もっと深く知りたいと思いました。

資源について専門性を高めたい。

ヤングケアラーの実状と対応の現状

事例研修を重ねて気づきを得たいです。

大人時代の支援をどのように整備するかが大切だと思いました。研修ありがとうございました。

多職種の方と交流できる本研修はとても有意義でした。ありがとうございました。次は若者ケアラーへの支援が聞きたいです。

ケアラーの判断基準をもう少し知りたい

一番後方で、おしゃべりされている方があり、気になりました。  
グループワークに力を入れようとしているからです。

研修ありがとうございました。いろいろな職種の方の意見を聞くことができ、有意義でした。連携と一言でいっても、どこにどのようにつないでいくのか、実際に行っている関係機関との連携の具体的な事例等を知りたいです。

他職種連携の重要性。

## 令和4年度 ケアラー研修(第2回) アンケート集計結果

参加者 50 名 / 回答 47 名 / 回収率 94 %

1 あなた自身についておうかがいします。あなたの職場の領域について、該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
教育系	14	30%
児童福祉系	13	28%
高齢者福祉系	8	17%
障がい者福祉系	6	13%
生活保護系	2	4%
相談員	1	2%
福祉系	1	2%
母子保健	1	2%
人権	1	2%
集 計	47	100%

2 あなたが教育・福祉・医療系の仕事に携わった年数の合計について、該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
0ヶ月～1年未満	5	11%
1年～2年未満	4	9%
2年～3年未満	4	9%
3年～5年未満	2	4%
5年～10年未満	7	15%
10年～20年未満	12	26%
20年以上	13	28%
集 計	47	100%

3 あなたは資格を有していますか。 該当する選択肢を選んでください。

選択	回答数	割合
有している	35	74%
有していない	12	26%
集 計	47	100%

4 あなたが有している資格について、該当する選択肢を選んでください。(複数回答可)

選択	回答数	割合
教員免許	12	26%
看護師	11	23%
保健師	11	23%
社会福祉士	10	21%
介護支援専門員	7	15%
介護福祉士	6	13%
精神保健福祉士	5	11%
公認心理師	3	6%
社会福祉主事任用資格	1	2%
理学療法士	1	2%
相談支援専門員	1	2%
集 計	68	145%

5 あなたがヤングケアラーを支援した経験はありますか。該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
経験がある	15	32%
経験がない	32	68%
集 計	47	100%

6 5で「ある」と回答した方のみ その際、他の部署や職種と連携したことはありますか。該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
どちらともいえない	1	2%
経験がある	14	30%
集 計	15	32%

7あなたは普段の業務の中で、他の部署や職種と連携することはありますか。該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
ときどきある	11	23%
よくある	36	77%
集 計	47	100%

8 本日の研修を受講され、「ヤングケアラー」や「ヤングケアラーの支援」「多職種連携」等について気づいたこと、分かったこと、思ったことなどがあれば自由にご記載ください。

自由記述
寄り添いの相談員
異業種の方たちとの関わり等も必要ではないかと感じた
他職種連携
とても有意義な研修でした
「つなぐ」ことが大切。 近年の「勤務の適正化」との兼ね合いが難しい。 支援者にも、それぞれの生活はあり、マルチに24時間働ける人もいない。 分業や分担と連携の大切さを改めて感じた。
まずは児童生徒への福祉教育が重要であると感じた。実践できることから、取り組みを進めていった。
修学前から関わることで支援できたこと、キーパーソンが誰だったかの把握が大事だと学びました。
多職種のかたのお話がとても興味深かったです。いろいろな視点から支援していくことが大切だと感じました。ありがとうございました。
ヤングケアラー自身、多くの支援者に支援の必要性を知って貰うことが、とても大切であること。
多職種連携の重要性がわかりました。
知らないことがたくさんあることがわかった。
職種によって見る視点が違うことがよく分かり、だからこそ、色んな視点から支援できるのだと思いました。
他職種連携の必要性
他職種連携で新たな方向性が見えたと感じました。ありがとうございました。
幅広い視点での支援が必要であるため、多職種連携と共に、子の成長、家庭環境の変化に合わせて支援も変えていくことが重要であると実感しました。
ヤングケアラーは自覚がなく、助けを求める力も弱いのでは思う。ヤングケアラーや福祉制度を学ぶ教育を小学生から取り入れるべきではと思う。
多職種の方との連携の必要性、大切さを改めて実感しました。
他部署との連携の重要性

## 自由記述

さまざまな分野での支援があり、それらがつながっていくことが大事だと思いました

私はSSWとして勤務しております。ヤングケアラーの支援において、地区の全ての子どもに関わるきっかけを持てる学校の果たすべき役割は大きいと改めて感じました。

教育機関からのアプローチを学んだ

早期支援の重要性、修学前検診、定期検診、保育所、幼稚園、小学校など教育機関での、親子家族の？気になることを見逃さない、些細なことでも、どこか、誰かと共有、考えること大事です。はじめの一步がしっかり、踏み出せば未来は明るい

対象者を現状が浮き彫りになるので有効

他業種の話聞くことは貴重だと思いました。

特定の支援サービスだけでなく、全体をコーディネートする立場の人がいるかどうか、重要と感じました。

他の部門の知らないことがたくさんありました。良い学びになりました。

他職種連携の仕組みづくりは大切

福祉の仕事をしている方達と出会えたことが一番の収穫でした。また、当事者の話は何より貴重でした。

関係機関との普段からの横のつながりの必要性

困った時は他職種に相談し、連携を図りながら支援していくことが大事だと思いました。

早期に気づき関係機関が協同し支援にあたるのが重要であること、他職種の役割やできることを知っておくことが大切、ケアラーでない子ども自身の今後について考えて支援すること

関係機関との連携の重要性

初期の段階で関わりを始めることがひつようであることを学びました。

グループワークを通して、早期発見、支援の重要性がわかった。

ポスターセッション形式での研修は多くの意見に触れることができてよかった。

連携は必須だということ

全ての機関をつないで、長期に渡りコーディネートしてくれる人が必要と感じました。行政支援があることや、SO Sを自分から出すことをもっと教えていかなければならないと思いました。

違った視点から考えることができ、新たな学びとなった。職場で生かしていきたい。

### 自由記述

地域の人や地域包括の職員が気がついたケースをどうやって本人や家族との相談につなぐのか、申請に寄らない相談を支援に乗せる入り口が難しいと感じています。実際のケースを積み上げていくしかないのかもしれない。

介入の難しさを感じた

勉強になりました。

キーパーソンは誰かの視点がなかった。今後の支援に活かしたい。

18歳を過ぎると支援が切れるところは非常に課題であると感じた

他市町や他職種の方が集まり、いろいろな事が聞けて良かった。

多機関を横断できるコーディネーターがいれば、スムーズに支援ができると思いました。

横のつながり（多種機関）と縦のつながり（長期的に支援できる場所・人）が大切だと実感しました。

他職種の仕事内容が勉強になりました。

9 本日の研修を受講され、さらに知りたいことや要望などがありましたら、自由にご記載ください。

### 自由記述

介入の仕方

地域で多職種が集まれる機会を作れるようになれば良いと思った

様々な連携方策を知っておく必要があると感じた。  
子どもたちへのアプローチ方法、学校現場で取り組める内容を一緒に考えていきたい。

多職種連携でどのサービスが使えるかをもっと知りたいと思いました。

ヤングケアラーへの学校としての適切な支援について学びたいです。

国の支援についての考え方

実際に必要な支援がどのようなものなのか知りたい。ヤングケアラーに気付ける方法を知りたい。

成功他市事例等

パネルディスカッションは、もっと他のところも聞きたかったです。

支援期間の情報

自由記述

福祉サービスを導入して、ヤングケアラーの負担感が本当に減っているかということをごどのように確認したらいいか、知りたいです。

子どもの居場所づくりで子へのしえんないよう、体制について

ヤングケアラー支援の具体的な取り組み内容を知りたいです。

それぞれの職種でできること

他部署と連携した支援への道筋の作成について

もっとたくさんのごことを学んでいく必要があると思いました。

保護者に疾病、障害等の事情がない(養育意欲が低いが要対協に繋がらない)ケアラーへの支援の方法について。

ヤングケアラーの支援制度について継続的に学びたい。

行政はケアラー施策をどこまで考えてるのか知りたい

学びなおしを支援できる制度

もう一度同じような内容でも構わないので受講したい

各自治体のヤングケアラー支援の体制や実践例が知れたらいいやと思いました。

ヤングケアラーの専用の相談窓口を設置しているところで、実際に支援したケースの事例、連携した機関などを紹介する機会があれば、ぜひ教えていただきたいと思いました。

支援団体、支援サービス

具体的な事例をもとに、対応を学びたいです

貴重なご講義ありがとうございました。

勤務校でもヤングケアラーに関する研修を考えようと思いました。

連携した先の支援を知りたい

こども家庭庁がどこまで取り組んでくれるのか知りたい

介護の知識

多機関連携の先進的な仕組みづくりをしている自治体の例を知りたい。

ヤングケアラーへの介入方法

自由記述

ふうせんの会について

ケアラー支援につながるサービス内容について。

ありがとうございました

事例をもう少し聞きたかった。

支援の成功事例を紹介してほしいと思いました。

研修機会があることがありがたいです。

地域資源の一覧表

他市のケアラー支援に関する事業を知りたい

特になし

特になし

特にない。

特になし

特にありません

特にありません

特になし

## 令和4年度 ケアラー研修(第3回) アンケート集計結果

参加者 38 名 / 回答 35 名 / 回収率 92.1 %

1 あなた自身についておうかがいします。あなたの職場の領域について、該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
教育系	15	43%
児童福祉系	10	29%
高齢者福祉系	2	6%
障害者福祉系	2	6%
ヤングケアラー相談員	1	3%
社会福祉しかい	1	3%
社協	1	3%
障害と包括	1	3%
保健	1	3%
福祉総務	1	3%
集 計	35	100%

2 あなたが教育・福祉・医療系の仕事に携わった年数の合計について、該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
0ヶ月～1年未満	3	9%
2年～3年未満	3	9%
3年～5年未満	5	14%
5年～10年未満	2	6%
10年～20年未満	9	26%
20年以上	13	37%
集 計	35	100%

3 あなたは資格を有していますか。 該当する選択肢を選んでください。

選択	回答数	割合
有している	20	57%
有していない	15	43%
集 計	35	100%

4 あなたが有している資格について、該当する選択肢を選んでください。(複数回答可)

選択	回答数	割合
教員免許	7	20%
社会福祉士	6	17%
看護師	5	14%
保健師	5	14%
保育士	4	11%
介護支援専門員	2	6%
精神保健福祉士	2	6%
児童福祉司任用資格	1	3%
カウンセラー心理士	1	3%
社会福祉主事任用資格	1	3%
社会福祉主事	1	3%
集 計	35	100%

5 あなたがヤングケアラーを支援した経験はありますか。 該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
経験がある	15	43%
経験がない	20	57%
集 計	35	100%

6 5で「ある」と回答した方のみ その際、他の部署や職種と連携したことはありますか。 該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
経験がある	15	43%
集 計	15	43%

7 あなたは普段の業務の中で、他の部署や職種と連携することはありますか。 該当する選択肢を選んでください。(選択はひとつ)

選択	回答数	割合
あまりない	3	9%
ときどきある	8	23%
よくある	24	69%
集 計	35	100%

8 本日の研修を受講され、「ヤングケアラー」や「ヤングケアラーの支援」「多職種連携」等について気づいたこと、分かったこと、思ったことなどがあれば自由にご記載ください。

### 自由記述

情報交換の場面は大切だと、改めて思いました。

学校の職員として、福祉に繋がろうと、社会福祉士の勉強をしました。他職種連携の重要性を感じています。

福祉のことを知らないから、子どもへの支援に戸惑う。他の部署の内容を知ることや研修に含むなどが重要だと思いました。

支援体制の明確化の必要性を感じました。

組織の垣根を超えて連携することが必要だと思った

教職員の気づきを促す研修が必要と思った

ヤングケアラーについての学習を学校現場でもする必要があると感じた。

今回教育の方とも、話ができてよかったです

横の連携で、個人情報の取り扱いが難しいとどの方からも声が上がっていて、厳しい問題だと感じました。

福祉学習や研修の場でヤングケアラーをとりあげる

今日はありがとうございました。福祉との連携についてたくさん情報を得られたことがとても良かったです。

連携の大切さ。情報共有。

児童生徒の時代に支援をすすめる必要性を感じました。

適切なタイミングでの支援が必要

別分野の参加者の意見を聞き、自分が知らなかった視点や制度がたくさんあることに気づかされた。

ヤングケアラーについて各方面の方々と連携しながら新しい視点を持って取り組む必要がある。

様々な支援の方法があることが分かりました。大変勉強になりました。私の地域でも、キーパーソンになる人は誰か、どんな支援があるのか、もう一度考えたいと思います。ありがとうございました。

教育現場(学校園)の方々に、ヤングケアラーについて、正しく知ってもらうことや、普段から見つける視点を持って子どもたちに接してほしいと思った。

それぞれの分野によって、できること、できないことがあるなかで、一人の当事者を支援するに辺り、顔の見える関係性を普段から築くことが大切だと思いました。

大変勉強になりました。

自由記述

支援も情報共有も連携も、どれも難しいが、まずは芽を育てることに取り組みたいと思った

支援サービスの充実と、ケアラーの周知をし、気づける人を増やさなければと思いました。

勉強になりました

多職種の方や他市の取り組みが知れて、有意義でした

大変勉強させていただきました

教育関係の部署の方々の話が聞けてよかったです。顔の見える連携が大事であることを再認識しました。

多職種連携することで新しいものの見方や考え方に触れることができると同時に知らない制度や知見を得られるので大切だと思った。

もう少しエリアが小さい範囲で出来ればなお良いと思います

多職種の連携の必要性

違う分野の方々と沢山のことを学びました。できることから始めます。ありがとうございました。

誰が主となって全体を動かすかのキーパーソンが大切である。

地域性、時代背景および多職種理解が深まった。

連携の重要性が解った

成人後の支援の少なさを痛感しました。相談窓口が分からない中、自らが発信していくことは難しいと感じます。積極的に支援に繋げる窓口が大切だと思いました。

それぞれ機関ごとにできることがたくさんあると感じました。

9 本日の研修を受講され、さらに知りたいことや要望などがありましたら、自由にご記載ください。

自由記述

当事者のお声を聞くことが現状を知る一歩ではないかと思います。今回、それが聞けて良かったです。もっと機会を増やして欲しいです。

ケアラーから介護をとると何も残らないとケアラーの方から聞いたことがあります。そのような心理状況の中を支援していく難しさを感じています。

福祉分野の支援策や、支援のパターン

## 自由記述

学校でも講演などで多くの保護者や職員に周知できればと思います。その際にはご支援いただきますようお願いいたします。

啓発のための資料はあるのか？

気付くポイントが知りたい

有意義な研修となりました。ありがとうございました。

誰がでなく、みんなが気付ける気持ちが大変で他職種で連携が必要と感じました

研修のことではないですが、兵庫県が行っているヤングケアラー配食モデルについて、対象の方の情報共有を県から市町へしていただけるのか、またその配送方法など詳しく教えていただきたいです。

多職種連携の視点大切、また、このような場がほしい。ヤングケアラーリングがあったら目立つし、啓発にいいかも？

自分の地域の福祉サポートや福祉ケアについて更に情報を得たいと思います。

活気がありよかった。異なる職種との情報交換は大変勉強になった

高校卒業後の支援のあり方というか方向性について知りたいです。

大人の支援方法

大変勉強になりました。ありがとうございました。

ヤングケアラーの法的支援の色々

他職種のこういった情報交換等出来れば嬉しいです。

現在抱えている事例への対応例の交換(個人情報保護の範囲内で)を行ってみたい。数多くの事例を知ること、対応力が上がると思うため。

普段同じ研修を受ける機会が少ない職種の方々と受けることができ、学び・気づきばかりでした。ありがとうございました。

また来年度も開催していただきたいです。よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

得には無いです

ケアラーに対して支援をしていく必要があるのは、軽度もあるが、どのレベルぐらいからになるかが判断しづらい。

特になし

福祉、教育に関わる、改正された法律や、新しい制度などについて知りたい

## 自由記述

学校が窓口になることが多いです  
しかし学校も大変です  
どう連携とるのがいいのでしょうか  
これが一番気になります

今日みんなの興味深い発表内容は、どういう形で活かされるのでしょうか？  
これまでの2回分を含めて、フィードバックしていただけたらうれしいです。

今後もこのような研修会を開催していただくとともに教職員にヤングケアラーの研修を行うことで教職員がアンテナを高くして早期発見早期対応できる体制を構築していくべきだと感じました。本日はありがとうございました。

ふうせんの会の具体的活動

ヤングケアラーを支援する団体への連絡方法や当事者の会など提供できるチラシなどの入手方法を知りたい

事例の実践研修を引き続きお願いします。

家族の中に入って心から支援をしているという、ラポールなどをとって時間がかかるがケース事例などで知りたい

具体的に活用できるフォーマル、インフォーマルサービスに対する知識と事例情報等

ヤングケアラーへの支援のその後について

ヤングケアラーは孤立しやすく、支援者がいても、異動で相談者が途切れる状況がよくわかりました。この環境の中、風船の会に出会い、未来に向けた希望を持っておられることがとても素敵だと感じます。今支援している方も同じように将来に希望が持てるような支援がしたいと思います。

若者へのサポートについて